

林 建良(りん けんりょう)1958年9月7日 台湾台中市生まれ

1987年、日本交流協会奨学生として来日。東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。医学博士。

現在は栃木県在住。医師としての仕事のかたわら台湾独立建国運動を展開中。

「正名運動」の名付け親。

1999年から2003まで在日台湾同郷会会長を務め、2001年に「正名運動」を発足し、在日台湾人の国籍記載を「中国」から「台湾」に変更するように日本政府に求めた。「正名運動」は後に台湾独立建国運動の主流となった。

元在日台湾同郷会会長(1999年～2003年)、元世界台湾同郷会副会長(2003年～2007年)、在日台湾同郷会顧問。メールマガジン「台湾の声」編集長。台湾独立建国連盟日本本部中央委員。日本李登輝友の会常務理事。

著書

『母親 e 名叫台湾:「正名運動」縁由』台湾:一橋出版社。(2003-09-17).

『日本よ、こんな中国とつきあえるか? 台湾人医師の直言』並木書房、2006年7月。

『中国の狙いは民族絶滅 チベット・ウイグル・モンゴル・台湾、自由への戦い』テンジン・イリハム・マハムティ・ダシ・ドノロブ共著 まどか出版、2009年3月。

『中国ガン 台湾人医師の処方箋』並木書房、2012年12月。